



# ナフコEDIシステム(VINAS)

## <一括送受信モジュール機能説明書>

第2.2版 2011年 7月 15日改訂

 福岡流通VAN株式会社



タイトル	目次	作成日	更新日
		2007年6月25日	2008年5月29日

1. 一括モジュール実装内容及び推奨環境	・ ・ ・	4
2. ナフコEDIシステム(VINAS)取引データ一覧	・ ・ ・	5
3. コンフィグレーションファイル	・ ・ ・	6
1)モジュール動作用		
2)ログ出力用		
4. モジュール起動方法	・ ・ ・	13
5. ステータスファイル	・ ・ ・	16
6. フォルダ構成	・ ・ ・	20

タイトル	1. 一括モジュール実装内容及び推奨環境	作成日	更新日
		2007年6月25日	2010年1月7日

## ■1. 実装内容

- ・EDIセンター(サーバー)⇄お取引先様パソコン(クライアント)間でのEDI取引データの送受信を可能とします。

通信プロトコル	(※)プロキシサーバー認証	開発言語	JAVAランタイム
HTTPS	BASIC認証・NTLM認証	JAVA	JDK1.4.2_16

※ DIGEST認証については、対応していません。

## ■2. 推奨環境

- ・お取引先様パソコン(クライアント)の推奨環境は以下の通りです。

(※1)OS	(※2)メモリ	ハードディスク空き容量	JAVAランタイム
Microsoft Windows2000 SP2 以上	256MB以上	1GB以上	JDK1.4.2_16

※1 VISTAにも対応しております。

※2 VISTAについては、推奨メモリは1GBとなっております。詳しくは、パソコン販売店にお問い合わせ下さい。

※3 Windows7についても対応しております。

ただし、Windows7の場合、一括送受信モジュールを※システムファイルディレクトリにインストールしますと、正常な動作が保障されませんので、システムファイルディレクトリを避けてインストールを行って下さい。

※システムファイルディレクトリ:「C:\Program Files」、「C:\Program Files (x86)」、「C:\Windows」、「C:\Windows.old」配下の事を指します。

※4 Windows Server 2008については、動作は保証されていません。

タイトル	2. ナフコEDIシステム(VINAS)取引データ一覧	作成日	更新日
		2007年6月25日	2008年5月29日

No	(※1)ファイル名称	ファイル 識別名称	履歴保存ファイル名	(※2) データID	ファイル説明	受信	送信	文字コード
1	発注データ	HACCYU.txt	HACCYU_YYYYMMDDHHMISS.txt	A01	ナフコ様からの発注データ	○		Shift_JIS
2	ASNデータ	NYOTEI.txt	NYOTEI_YYYYMMDDHHMISS.txt	C01	ナフコ様からの発注に対する仕入先の 出荷確定データ		○	Shift_JIS
3	受領データ	JURYOU.txt	JURYOU_YYYYMMDDHHMISS.txt	C02	ナフコ様からの受領データ	○		Shift_JIS
4	支払案内データ	SANNAI.txt	SANNAI_YYYYMMDDHHMISS.txt	J01	ナフコ様からの支払案内(鑑)データ	○		Shift_JIS
5	VD値引実績通知データ	VDNBKJ.txt	VDNBKJ_YYYYMMDDHHMISS.txt	J03	ナフコ様からのボリュームディスカウント 値引実績データ	○		Shift_JIS
6	支払明細データ	SMEISAI.txt	SMEISAI_YYYYMMDDHHMISS.txt	J02	ナフコ様からの支払明細データ (※オプション契約にて受信可能)	○		Shift_JIS

※1 ファイル名称について

EDIセンターから受信するファイル名は、履歴保存ファイル名(“HACCYU\_YYYYMMDDHHMMSS”等)となります。  
履歴保存の指定がない場合は、“HACCYU\_YYYYMMDDHHMMSS.txt”を“HACCYU.txt”へリネームし、保存します。  
ファイル名については一括送受信モジュールでの指定ファイル名となっておりますので変更不可となっております。

※2 データIDについて

受信したい、送信したいデータを表すIDとなります。一括送受信モジュールを起動する際のバッチファイルへの引数となります。

タイトル	3. コンフィグレーションファイル	1. モジュール動作用	1/6	作成日	更新日
				2007年6月25日	2008年5月29日

- 一括送受信モジュールの動作環境として、コンフィグレーションファイル (config.xml) が必要となります。  
インストール時に設定する内容は以下の通りです。

※「必須」欄“－”は任意です。

基本情報	詳細	必須	備考
ユーザID	EDIシステムへのログインコード	○	
パスワード	ログインコードに対するパスワード	○	
モジュール動作環境	詳細	必須	備考
インストール先フォルダパス	一括送受信モジュールインストール先	○	
圧縮ファイル保存先フォルダパス	EDIセンターとの送受信する圧縮ファイル保存先	○	
メッセージボックス表示/非表示	処理終了時の画面へのメッセージ表示有無	○	
ログファイル保存先フォルダパス	処理ログファイル保存先	○	
ログファイルMAXサイズ	ログファイルの大きさ(1Mなど)	○	
ログファイル世代数	ログファイルの世代数	○	
HTTP通信におけるタイムアウト値(単位はミリ秒)	EDIセンターへのリクエスト時にレスポンスがなかった際のタイムアウト値	○	
HTTP通信における通信エラー時のリトライ回数	タイムアウト含む通信エラー時の接続リトライ回数	○	
監視処理実行間隔(単位はミリ秒)	送受信処理の監視処理を実行する間隔	○	
BASIC認証ユーザ	プロキシBASIC認証時のユーザを設定	－	BASIC認証時は必須設定
BASIC認証パスワード	プロキシBASIC認証時のパスワードを設定	－	〃
NTLM認証ユーザ	プロキシNTLM認証時のユーザを設定	－	NTLM認証時は必須設定
NTLM認証パスワード	プロキシNTLM認証時のパスワードを設定	－	〃
ホスト名	HTTP通信におけるホスト名 (NTLM認証時)	－	〃
ドメイン名	HTTP通信におけるドメイン名 (NTLM認証時)	－	〃
送信用パラメータ	詳細	必須	備考
送信用(ファイル送信用)URL	固定 ( <a href="https://www.vinas.jp/web-edi/transfer/Receive.do">https://www.vinas.jp/web-edi/transfer/Receive.do</a> )	○	クライアントから見たEDIセンター側の受信機能であることを意味します
送信用(処理監視用)URL	固定 ( <a href="https://www.vinas.jp/web-edi/transfer/ProgressReceive.do">https://www.vinas.jp/web-edi/transfer/ProgressReceive.do</a> )	○	〃
ステータスファイルのパス	送信処理ステータスファイル出力先	○	
ステータスファイル(最終ステータス)のパス	送信処理ステータスファイル出力先	○	
文字列チェック設定ファイルのパス	送信処理時に禁則文字列のチェックを行うための設定ファイルの場所	○	
正常終了時処理	送信処理正常終了時の実行ファイルなど	－	後続処理なしの場合は指定なし
異常終了時処理	送信処理異常終了時の実行ファイルなど(後続処理なしの場合は指定なし)	－	〃
ASNデータファイル格納フォルダパス	ASNデータ保存先	○	
ASN履歴ファイル格納フォルダパス	ASN履歴データ保存先(履歴保存なしの場合は指定なし)	○	
ASN履歴ファイル保存日数	ASN履歴データ保存日数(0の場合は保存しない)	○	

タイトル	3. コンフィグレーションファイル	1. モジュール動作用	2/6	作成日	更新日
				2007年6月25日	2008年5月29日

基本情報	詳細	必須	備考
受信用(データ作成用)URL	固定 (https://www.vinas.jp/web-edl/transfer/ <a href="https://www.vinas.jp/web-edl/transfer/Send.do">Send.do</a> )	○	EDIセンターから見たクライアントへの送信機能であることを意味します
受信用(データ更新用)URL	固定 (https://www.vinas.jp/web-edl/transfer/ <a href="https://www.vinas.jp/web-edl/transfer/SendUpdate.do">SendUpdate.do</a> )	○	"
受信用(ファイルダウンロード用)URL	固定 (https://www.vinas.jp/web-edl/transfer/ <a href="https://www.vinas.jp/web-edl/transfer/SendDownload.do">SendDownload.do</a> )	○	"
受信用(処理監視用)URL	固定 (https://www.vinas.jp/web-edl/transfer/ <a href="https://www.vinas.jp/web-edl/transfer/ProgressSend.do">ProgressSend.do</a> )	○	"
受信用(タイムアウト用)URL	固定 (https://www.vinas.jp/web-edl/transfer/ <a href="https://www.vinas.jp/web-edl/transfer/CancelSend.do">CancelSend.do</a> )	○	"
ステータスファイルのパス	受信処理ステータスファイル出力先	○	
ステータスファイル(最終ステータス)のパス	受信処理ステータスファイル出力先	○	
正常終了時処理	送信処理正常終了時の実行ファイルなど(後続処理なしの場合は指定なし)	—	
異常終了時処理	送信処理異常終了時の実行ファイルなど(後続処理なしの場合は指定なし)	—	
発注ファイル格納フォルダパス	発注データ保存先	○	
発注履歴ファイル格納フォルダパス	発注履歴データ保存先(履歴保存なしの場合は指定なし)	○	
発注履歴ファイル保存日数	発注履歴データ保存日数(0の場合は保存しない)	○	
受領ファイル格納場所	受領データ保存先	○	
受領履歴ファイル格納フォルダパス	受領履歴データ保存先(履歴保存なしの場合は指定なし)	○	
受領履歴ファイル保存日数	受領履歴データ保存日数(0の場合は保存しない)	○	
支払案内ファイル格納フォルダパス	支払案内データ保存先	○	
支払案内履歴ファイル格納フォルダパス	支払案内履歴データ保存先(履歴保存なしの場合は指定なし)	○	
支払案内履歴ファイル保存日数	支払案内履歴データ保存日数(0の場合は保存しない)	○	
支払明細ファイル格納フォルダパス	支払明細データ保存先	—	別途 契約が必要
支払明細履歴ファイル格納フォルダパス	支払明細履歴データ保存先(履歴保存なしの場合は指定なし)	—	"
支払明細履歴ファイル保存日数	支払明細履歴データ保存日数(0の場合は保存しない)	—	"
VD値引実績ファイル格納フォルダパス	VD値引実績データ保存先	○	
VD値引実績履歴ファイル格納フォルダパス	VD値引実績履歴データ保存先(履歴保存なしの場合は指定なし)	○	
VD値引実績履歴ファイル保存日数	VD値引実績履歴データ保存日数(0の場合は保存しない)	○	

タイトル	3. コンフィグレーションファイル	1. モジュール動作用	3/6	作成日	更新日
				2007年6月25日	2008年5月29日

●実際の「config.xml」の内容は以下の通りです。

<pre>&lt;?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?&gt; &lt;edi&gt;   &lt;client&gt;     &lt;parameter&gt;       &lt;!--ユーザID--&gt;       &lt;name&gt;userid&lt;/name&gt;       &lt;value&gt;ユーザID&lt;/value&gt;     &lt;/parameter&gt;     &lt;parameter&gt;       &lt;!--パスワード--&gt;       &lt;name&gt;password&lt;/name&gt;       &lt;value&gt;パスワード&lt;/value&gt;     &lt;/parameter&gt;   &lt;/client&gt;   &lt;localEnv&gt;     &lt;parameter&gt;       &lt;!--インストール先フォルダパス--&gt;       &lt;name&gt;installDir&lt;/name&gt;       &lt;value&gt;D:/NFWE/CLIENT&lt;/value&gt;     &lt;/parameter&gt;     &lt;parameter&gt;       &lt;!--圧縮ファイル保存先(temp)フォルダパス--&gt;       &lt;name&gt;TempDir&lt;/name&gt;       &lt;value&gt;D:/NFWE/CLIENT/TEMP&lt;/value&gt;     &lt;/parameter&gt;     &lt;parameter&gt;       &lt;!--メッセージボックス表示/非表示設定--&gt;       &lt;!--表示:true 非表示:false--&gt;       &lt;name&gt;useMsgBox&lt;/name&gt;       &lt;value&gt;true&lt;/value&gt;     &lt;/parameter&gt;     ①へ続く</pre>	<pre>① &lt;/parameter&gt;     &lt;parameter&gt;       &lt;!--ログファイル保存先フォルダパス--&gt;       &lt;name&gt;logDir&lt;/name&gt;       &lt;value&gt;D:/NFWE/CLIENT/LOG&lt;/value&gt;     &lt;/parameter&gt;     &lt;parameter&gt;       &lt;!--ログファイルのMAXサイズ指定--&gt;       &lt;!--単位はM(Mバイト),K(Kバイト),単位なし(バイト)--&gt;       &lt;name&gt;logFileSize&lt;/name&gt;       &lt;value&gt;1M&lt;/value&gt;     &lt;/parameter&gt;     &lt;parameter&gt;       &lt;!--ログファイルの世代数--&gt;       &lt;name&gt;logFileCount&lt;/name&gt;       &lt;value&gt;10&lt;/value&gt;     &lt;/parameter&gt;     &lt;parameter&gt;       &lt;!--HTTP通信におけるタイムアウト値(単位はミリセカンド)--&gt;       &lt;name&gt;timeout&lt;/name&gt;       &lt;value&gt;600000&lt;/value&gt;     &lt;/parameter&gt;     &lt;parameter&gt;       &lt;!--HTTP通信における通信エラー時のリトライ回数--&gt;       &lt;name&gt;retry&lt;/name&gt;       &lt;value&gt;5&lt;/value&gt;     &lt;/parameter&gt;     &lt;parameter&gt;       &lt;!--HTTP通信におけるプロキシアドレス設定(プロキシを経由する場合)--&gt;       &lt;name&gt;proxy&lt;/name&gt;     &lt;/parameter&gt;     ②へ続く</pre>
--	---



タイトル	3. コンフィグレーションファイル	1. モジュール動作用	4/6	作成日	更新日
				2007年6月25日	2008年5月29日

```

② <value>IPアドレス指定(経由しない場合は指定なし)</value>
</parameter>
<parameter>
  <!--HTTP通信におけるプロキシポート設定-->
  <name>proxyPort</name>
  <value>プロキシポート指定(経由しない場合は指定なし)</value>
</parameter>
<parameter>
  <!--監視処理実行間隔(単位はミリセカンド)-->
  <name>watchTime</name>
  <value>10000(タイムアウト値より小さい値を指定)</value>
</parameter>
<parameter>
  <!--BASIC認証ユーザ-->
  <name>basicUser</name>
  <value>認証ユーザ(認証しない場合は指定なし)</value>
</parameter>
<parameter>
  <!--BASIC認証パスワード-->
  <name>basicPass</name>
  <value>認証パスワード(認証しない場合は指定なし)</value>
</parameter>
<parameter>
  <!--NTLM認証ユーザ-->
  <name>ntlmUser</name>
  <value>認証ユーザ(認証しない場合は指定なし)</value>
</parameter>
<parameter>
  <!--NTLM認証パスワード-->
  <name>ntlmPass</name>

```

③へ続く

```

③ <value>認証パスワード(認証しない場合は指定なし)</value>
</parameter>
<parameter>
  <!--HTTP通信におけるホスト名設定(NTLM認証時に必要)-->
  <name>host</name>
  <value>ホスト名(NTLM認証しない場合は指定なし)</value>
</parameter>
<parameter>
  <!--HTTP通信におけるドメイン名設定-->
  <name>domain</name>
  <value>ドメイン名(NTLM認証しない場合は指定なし)</value>
</parameter>
</localEnv>
<!--送信用パラメータ-->
<send>
  <!--URL(ファイル送信用)-->
  <url>https://www.vinas.jp/web-edl/transfer/Receive.do </url>
  <!--URL(処理監視用)-->
  <urlWatch>https://www.vinas.jp/web-edl/transfer/ProgressReceive.do </urlWatch>
  <!--ステータスファイル(処理詳細確認用)のパス-->
  <statusFilePath>D:/NFWE/CLIENT/STATUS/status_send.txt </statusFilePath>
  <!--ステータスファイル(結果確認用)のパス-->
  <endstatusFilePath>D:/NFWE/CLIENT/STATUS/status_send_last.txt </endstatusFilePath>
  <!--全角文字列チェック設定ファイルのパス-->
  <characterCheckFilePath>D:/NFWE/client/install/em-size.txt </characterCheckFilePath>
  <!--正常終了時の処理。空白のときは実行されない。-->
  <normalProc>send_normal.bat</normalProc>
  <!--異常終了時の処理。空白のときは実行されない。-->
  <errorProc>send_error.bat</errorProc>
  <!--ファイルデータ(複数設定可能)-->

```

④へ続く

```

④ <sendItem>
  <!--ファイル名(実際のファイル名は後に.txtが付く)-->
  <name>NYOTEI</name>
  <!--ファイルID-->
  <id>C01</id>
  <!--ファイル格納場所-->
  <file>D:/NFWE/CLIENT/NYOTEI/nyotei.txt </file>
  <!--履歴ファイル格納フォルダパス(履歴を保持しない場合は空白)-->
  <historyDir>D:/NFWE/CLIENT/HISTORY </historyDir>
  <!--履歴ファイル保存日数(0のときは履歴削除を行わない)-->
  <saveDayCount>10</saveDayCount>
</sendItem>
</send>
<!--受信用パラメータ-->
<receive>
  <!--URL(データ作成用)-->
  <url>https://www.vinas.jp/web-edl/transfer/Send.do </url>
  <!--URL(データ更新用)-->
  <urlUpd>https://www.vinas.jp/web-edl/transfer/SendUpdate.do </urlUpd>
  <!--URL(ファイルダウンロード用)-->
  <urlDL>https://www.vinas.jp/web-edl/transfer/SendDownload.do </urlDL>
  <!--URL(処理監視用)-->
  <urlWatch>https://www.vinas.jp/web-edl/transfer/ProgressSend.do <
    /urlWatch>
  <!--URL(タイムアウト用)-->
  <urlCancel>https://www.vinas.jp/web-edl/transfer/CancelSend.do <
    /urlCancel>
  <!--ステータスファイル(処理詳細確認用)のパス-->
  <statusFilePath>D:/NFWE/CLIENT/STATUS/
    status_receive.txt</statusFilePath>

```

⑤へ続く

```

⑤ <!--ステータスファイル(結果確認用)のパス-->
<endstatusFilePath>D:/NFWE/CLIENT/STATUS/
  status_receive_last.txt</endstatusFilePath>
<!--正常終了時の処理-->
<normalProc>receive_normal.bat</normalProc>
<!--異常終了時の処理-->
<errorProc>receive_error.bat</errorProc>
<!--ファイルデータ(複数設定可能)-->
<receiveItem>
  <!--ファイル名(実際のファイル名は後に.txtが付く)-->
  <name>HACCYU</name>
  <!--ファイルID-->
  <id>A01</id>
  <!--ファイル格納場所-->
  <dir>D:/NFWE/CLIENT/HACCYU </dir>
  <!--履歴ファイル格納フォルダパス-->
  <historyDir>D:/NFWE/CLIENT/HISTORY </historyDir>
  <!--履歴ファイル保存日数(0のときは履歴削除を行わない)-->
  <saveDayCount>10</saveDayCount>
</receiveItem>
<receiveItem>
  <!--ファイル名(実際のファイル名は後に.txtが付く)-->
  <name>JURYU</name>
  <!--ファイルID-->
  <id>C02</id>
  <!--ファイル格納場所-->
  <dir>D:/NFWE/CLIENT/JURYU </dir>
  <!--履歴ファイル格納フォルダパス(履歴を保持しない場合は空白)-->
  <historyDir>D:/NFWE/CLIENT/HISTORY </historyDir>
  <!--履歴ファイル保存日数(0のときは履歴削除を行わない)-->

```

⑥へ続く

タイトル	3. コンフィグレーションファイル	1. モジュール動作用	6/6	作成日	更新日
				2007年6月25日	2008年5月29日

```

⑥ <saveDayCount>10</saveDayCount>
</receiveItem>
<receiveItem>
  <!--ファイル名(実際のファイル名は後に.txtが付く)-->
  <name>SANNAI</name>
  <!--ファイルID-->
  <id>J01</id>
  <!--ファイル格納場所-->
  <dir>D:/NFWE/CLIENT/SANNAI</dir>
  <!--履歴ファイル格納フォルダパス(履歴を保持しない場合は空白)-->
  <historyDir>D:/NFWE/CLIENT/HISTORY</historyDir>
  <!--履歴ファイル保存日数(0のときは履歴削除を行わない)-->
  <saveDayCount>10</saveDayCount>
</receiveItem>
<receiveItem>
  <!--ファイル名(実際のファイル名は後に.txtが付く)-->
  <name>SMEISAI</name>
  <!--ファイルID-->
  <id>J02</id>
  <!--ファイル格納場所-->
  <dir>D:/NFWE/CLIENT/SMEISAI</dir>
  <!--履歴ファイル格納フォルダパス(履歴を保持しない場合は空白)-->
  <historyDir>D:/NFWE/CLIENT/HISTORY</historyDir>
  <!--履歴ファイル保存日数(0のときは履歴削除を行わない)-->
  <saveDayCount>10</saveDayCount>
</receiveItem>
<receiveItem>
  <!--ファイル名(実際のファイル名は後に.txtが付く)-->
  <name>VDNBKJ</name>
  <id>J03</id>

```

⑦へ続く

```

⑦ <!--ファイル格納場所-->
<dir>D:/NFWE/CLIENT/VDNBKJ</dir>
<!--履歴ファイル格納フォルダパス(履歴を保持しない場合は空白)-->
<historyDir>D:/NFWE/CLIENT/HISTORY</historyDir>

  <saveDayCount>10</saveDayCount>
  </receiveItem>
</receive>
</edi>

```

- 一括送受信モジュールの動作ログ保存に際して、ログ出力設定ファイル(log4j.xml)が必要となります。インストール時に自動設定されますが、フォルダ名変更等を行った場合、赤色の箇所を変更する必要があります。(以下は実際の「log4j.xml」の内容です)

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" ?>
<!DOCTYPE log4j:configuration SYSTEM "log4j.dtd">

<log4j:configuration xmlns:log4j="http://jakarta.apache.org/log4j/">

  <!-- ファイルにログを出力するRollingFileAppenderを定義 -->
  <appender name="一括受信" class="org.apache.log4j.RollingFileAppender">
    <!-- ログのファイル名 -->
    <param name="file" value="D:/NFWE/CLIENT/LOG/nafcoedi.log" />
    <param name="MaxBackupIndex" value="10" />
    <param name="MaxFileSize" value="1MB" />
    <!-- すでにログが存在する場合、ファイルにログを追加 -->
    <param name="append" value="true" />
    <!-- ログの出力形式を指定 -->
    <layout class="org.apache.log4j.PatternLayout">
      <param name="ConversionPattern" value="%d{yyyy/MM/dd HH:mm:ss.SSS} %c %m%n" />
    </layout>
    <!-- ログの出力レベルフィルター -->
    <filter class="org.apache.log4j.varia.LevelRangeFilter">
      <param name="LevelMin" value="INFO" />
      <param name="LevelMax" value="ERROR" />
      <param name="AcceptOnMatch" value="true" />
    </filter>
    <filter class="org.apache.log4j.varia.DenyAllFilter" />
  </appender>
  <!-- ファイルにログを出力するRollingFileAppenderを定義 -->
  <appender name="一括送信" class="org.apache.log4j.RollingFileAppender">
    <!-- ログのファイル名 -->
```

①へ続く

```
① <param name="file" value="D:/NFWE/CLIENT/LOG/nafcoedi.log" />
    <param name="MaxBackupIndex" value="10" />
    <param name="MaxFileSize" value="1MB" />
    <!-- すでにログが存在する場合、ファイルにログを追加 -->
    <param name="append" value="true" />
    <!-- ログの出力形式を指定 -->
    <layout class="org.apache.log4j.PatternLayout">
      <param name="ConversionPattern" value="%d{yyyy/MM/dd HH:mm:ss.SSS} %c %m%n" />
    </layout>
    <!-- ログの出力レベルフィルター -->
    <filter class="org.apache.log4j.varia.LevelRangeFilter">
      <param name="LevelMin" value="INFO" />
      <param name="LevelMax" value="ERROR" />
      <param name="AcceptOnMatch" value="true" />
    </filter>
    <filter class="org.apache.log4j.varia.DenyAllFilter" />
  </appender>
  <category name="一括受信">
    <priority value="debug" />
  </category>
  <category name="一括送信">
    <priority value="debug" />
  </category>
  <root>
    <priority value="debug" />
    <appender-ref ref="一括受信" />
  </root>
</log4j:configuration>
```

●Windowsバッチファイル(\*.bat)について記載します。

使用方法としましては、バッチファイル名の後に引数として送受信するデータのデータIDを指定します。

#### ■1. 送信バッチファイル(send.bat)起動について

##### 1. 1. 送信バッチファイル(send.bat)の内容

```
set msg=正常終了
set classpath=client.jar;
set classpath=%classpath%;commons-beanutils.jar;
set classpath=%classpath%;commons-codec-1.3.jar;
set classpath=%classpath%;commons-collections.jar;
set classpath=%classpath%;commons-digester.jar;
set classpath=%classpath%;commons-httpclient-3.0.jar;
set classpath=%classpath%;commons-logging.jar;
set classpath=%classpath%;log4j-1.2.11.jar;
set classpath=%classpath%;org.eclipse.swt.win32.win32.x86_3.1.1.jar;
java -Djavax.net.ssl.trustStore="D:/NFWE/client/install/.keystore" jp.co.nafco.client.ClientSend %1
```

##### 1. 2. 送信バッチファイル(send.bat)の起動方法

・DOSプロンプトにて、一括モジュールインストールルートまで移動し、以下の手順で起動します。

send.bat C01

※C01=ASNデータ

## ■2. 受信バッチファイル(receive.bat)起動について

### 2. 1. 受信バッチファイル(receive.bat)の内容

```
set classpath=client.jar;
set classpath=%classpath%;commons-beanutils.jar;
set classpath=%classpath%;commons-codec-1.3.jar;
set classpath=%classpath%;commons-collections.jar;
set classpath=%classpath%;commons-digester.jar;
set classpath=%classpath%;commons-httpclient-3.0.jar;
set classpath=%classpath%;commons-logging.jar;
set classpath=%classpath%;log4j-1.2.11.jar;
set classpath=%classpath%;org.eclipse.swt.win32.win32.x86_3.1.1.jar;
echo 引数 %1
java -Djavax.net.ssl.trustStore="D:/NFWE/client/install/.keystore" jp.co.nafco.client.ClientReceive %1
```

### 2. 2. 受信バッチファイル(receive.bat)の起動方法

- ・DOSプロンプトにて、一括モジュールインストールルートまで移動し、以下の手順で起動します。

receive.bat A01

※A01=発注データ

## ■3. アプリケーションからの起動について

※以下はVisualBasicから起動する場合のサンプルソースです。

```
Private Sub cmdShell_Click()  
    Dim pid As Long  
    Dim ph As Long  
    Dim lngEcode As Long  
  
    ' カレントドライブを C に設定する  
    Call ChDrive("C")  
  
    ' カレントディレクトリを「C:\NFWE\CLIENT\install\」に設定する  
    Call ChDir("C:\NFWE\CLIENT\install\  
  
    pid = Shell("C:\NFWE\CLIENT\install\receive.bat " & 'A01', vbNormalFocus) ' exe実行  
    ph = OpenProcess(SYNCHRONIZE Or PROCESS_QUERY_INFORMATION, True, pid)  
  
    lblStatus = "起動中"  
  
    WaitForSingleObject ph, 100000 ' receive.batが終了するまで待つ  
    GetExitCodeProcess ph, lngEcode ' receive.batの終了コード取得
```

タイトル	5. ステータスファイル	作成日	更新日
		2007年6月25日	2008年5月29日

- ステータスファイルとして、処理詳細確認用(status\_send.txt/status\_receive.txt)及び結果確認用(status\_send\_last.txt/status\_receive\_last.txt)の2種類のファイルが出力されます。

#### ■1. 処理詳細確認ステータスファイルについて

- ・処理の順番及び、クライアント処理時間・サーバ処理時間を確認することができます。

処理単位毎に、1行目にステータス、2行目にメッセージが出力されますので、ステータスをもとに各処理結果の判定を行って下さい。

##### ◆「送信結果」

クライアントからサーバーへの送信結果(ステータス)が、「status\_send.txt」に格納されます。

##### ◆「受信結果」

クライアントからサーバーへ受信要求した際のサーバー側での処理結果(ステータス)が、「status\_receive.txt」に格納されます。

##### ◆「ファイル内容」

■クライアント処理時間 開始: **yyyy/mm/dd hh:mm:ss** クライアントの処理開始時間を出力します

##### 【処理項目(※■3. 処理項目一覧を参照 No.1、2、4、5)】

00

正常終了しました。

■サーバ処理 開始: **yyyy/mm/dd hh:mm:ss** EDIセンター サーバの処理開始時間を出力します

##### 【処理項目(※■3. 処理項目一覧を参照 No.3、6～11)】

00

正常終了しました。

⋮

■サーバ処理 終了: **yyyy/mm/dd hh:mm:ss** EDIセンター サーバの処理終了時間を出力します

■クライアント処理時間 終了: **yyyy/mm/dd hh:mm:ss** クライアントの処理終了時間を出力します

※処理分繰り返し



タイトル	5. ステータスファイル	作成日	更新日
		2007年6月25日	2008年5月29日

### ■3. 処理項目一覧

処理	No.	内容	備考
送信処理	1	初期処理	エラー時のみ出力
	2	送信処理開始	
	3	送信監視処理	
受信処理	4	初期処理	エラー時のみ出力
	5	受信ファイル作成処理開始	
	6	受信ファイル作成監視処理	
	7	ファイルダウンロード処理	
	8	サーバデータ登録処理開始	
	9	サーバデータ登録監視処理	
	10	キャンセル処理	
	11	キャンセル監視処理	

### ■4. 結果確認ステータスファイルについて

・処理全体の結果を確認することができます。

1行目にステータス、2行目にメッセージが出力されますので、ステータスをもとに結果の判定を行って下さい。

#### ◆「送信結果」

クライアントからサーバーへの送信結果(ステータス)が、「status\_send\_last.txt」に格納されます。

#### ◆「送信結果」

クライアントからサーバーへ受信要求した際のサーバー側での処理結果(ステータス)が、「status\_receive\_last.txt」に格納されます。

#### ◆「ファイル内容」 ※例としてログインIDまたは、パスワードに誤りがあった場合の結果確認ステータスファイルの内容です。

30

ログインできません。ログインID及びパスワードを確認願います。

タイトル	5. ステータスファイル	作成日	更新日
		2007年6月25日	2010年1月7日

### ■5. ステータスコードと対処について

・各コードに対応するメッセージを確認して「確認と対応」の対処を行って下さい。

※コード「00」、「01」以外については、何らかの対処が必要となります。

コード	メッセージ	確認と対応
00	正常終了しました	—
01	対象データが存在しません	EDIセンターに受信対象となるデータが存在しません
02	送信処理中です	他ユーザが送信処理中です。暫く時間をおいて再度実行して下さい。
03	受信処理中です	他ユーザが受信処理中です。暫く時間をおいて再度実行して下さい
10	ログファイルの保存先が不明です	config.xmlのログファイル保存先フォルダパスを正しく設定して下さい
11	ステータスファイルの保存先が不明です	config.xmlのステータスファイル保存先フォルダパスを正しく設定して下さい
12	データファイルの保存先が不明です	config.xmlのデータファイル保存先フォルダパスを正しく設定して下さい
13	履歴ファイルの保存先が不明です	config.xmlの履歴ファイル保存先フォルダパスを正しく設定して下さい
14	圧縮ファイル保存先が不明です	config.xmlの圧縮ファイル保存先フォルダパスを正しく設定して下さい
20	EDIセンターに接続できません	<ul style="list-style-type: none"> <li>・LAN線が外れていないことを確認して下さい</li> <li>・「.keystore」ファイルが、receive.bat及びsend.batに記述のディレクトリに存在することを確認して下さい</li> <li>・プロキシ設定されている場合、config.xmlのプロキシアドレス設定及び、プロキシポート設定を 正しく設定して下さい</li> <li>・BASIC認証設定されている場合、config.xmlのBASIC認証ユーザ・BASIC認証パスワードを正しく設定して下さい</li> <li>・NTLM認証設定されている場合、config.xmlのNTLM認証ユーザ・NTLM認証パスワード・HTTP 通信におけるホスト名・HTTP通信におけるドメイン名を正しく設定して下さい</li> </ul>
21	EDIセンターへの接続がタイムアウトしました	config.xmlのタイムアウト値を正しく設定して下さい
22	指定されているデータIDの処理できません。 データIDを確認願います	一括モジュール実行時、正しいデータIDを正しく指定して下さい
30	ログインできません。ログインID及びパスワードを確認願います	config.xmlのユーザID・パスワードを正しく設定して下さい
31	ログインできません。EDI契約がありません	EDIセンターへお問合せください
32	ログインできません。EDI取引開始前です	EDIセンターへお問合せください
33	ログインできません。EDI契約が終了しました	EDIセンターへお問合せください
34	ログインできません。支払明細契約がありません	EDIセンターへお問合せください
35	ログインできません。支払案内データが受信できません	EDIセンターへお問合せください

タイトル	5. ステータスファイル	作成日	更新日
		2007年6月25日	2010年1月7日

コード	メッセージ	確認と対応
36	ログインできません。EDI契約が開始できません	EDIセンターへお問合せください
40	ファイルが存在しません	「NYOTEI」フォルダの配下に、「NYOTEI.txt」を配置して下さい
41	一括受信情報ファイルが存在しません	EDIセンターへお問合せください
42	データ登録に失敗しました	EDIセンターへお問合せください
43	解凍処理ができませんでした	解凍処理中ファイルのファイル操作を行わないで下さい
44	圧縮処理ができませんでした	圧縮処理中ファイルのファイル操作を行わないで下さい
45	受信ファイルのコピーができませんでした	コピー処理中ファイルのファイル操作を行わないで下さい
46	履歴ファイルの作成ができませんでした	履歴作成中ファイルのファイル操作を行わないで下さい
47	チェック用ファイルが存在しません	EDIセンターへお問合せください
48	チェック用ファイルのフォーマットが不正です	EDIセンターへお問合せください
50	送信されたデータはEDIセンターに登録済です	－
51	データヘッダの出荷仕入先コードに誤りがあります。 送信データを確認願います	送信データのデータヘッダの出荷仕入先コードを正しくセットして下さい
52	レコード長に誤りがあります。送信データを確認願います	送信データの各行のレコード長を500byteで作成して下さい
53	データ形式に誤りがあります。送信データを確認願います	送信データの各項目のデータ型がデータフォーマットと一致していることを確認して下さい
54	送信ファイル内に重複したデータが存在します。 送信データを確認願います	－
55	データヘッダと明細のレコード件数が異なります。 送信データを確認願います	送信データのデータヘッダの明細件数と、明細部の件数が一致していることを確認して下さい
56	明細の文字列に禁止文字列が含まれています。 (送信データ中 ??件) ステータスデータを確認願います	送信データの明細部に禁止文字列(VISTA機種依存文字)が入力されています。 ステータスファイルを確認後、送信データの修正をお願いいたします
90	EDIセンターでシステムエラーが発生しています。 EDIセンターへお問合せ下さい	EDIセンターへお問合せください
91	サーバメンテナンス中です	サーバメンテナンス中のため、一括送受信は行えません。メンテナンス終了後、 再度実行して下さい
92	モジュールのバージョン監視中にエラーが発生しています EDIセンターへお問合せ下さい。	EDIセンターへお問合せください

タイトル	5. ステータスファイル	作成日	更新日
		2007年6月25日	2010年1月7日

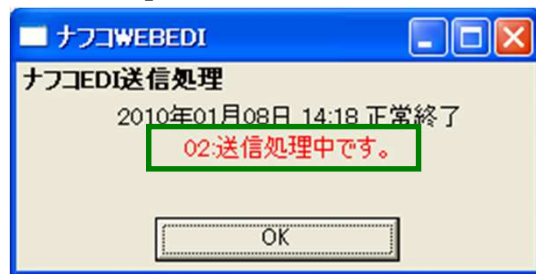
#### ■6. 一括送受信モジュール実行時の注意点

- ・一括送受信モジュールにて取引データを送受信後、『送信処理中です』または、『受信処理中です』と表示された場合、**再度、取引データの送受信(※1)**が必要となりますので、ご注意ください。
- ・『送信処理中です』と表示された状況は、お取引先様から送信されたASNデータはEDIセンターに届いておりません。ナフコ様にASNデータを送信出来ない状況となっておりますので、ナフコ様に於ける荷受けが出来ません。

(※1) 暫く(10分～15分程度)時間をおいて再度、送受信を行って下さい。 状況が変わらない場合は、EDIセンターへお問い合わせ下さい。

##### 【送信処理時】

###### ◆「メッセージ」

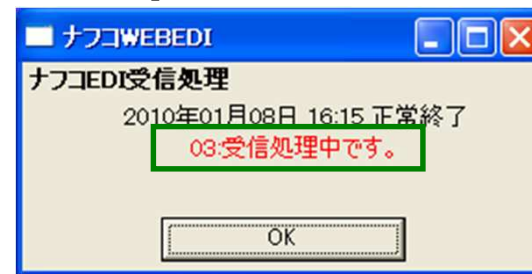


###### ◆結果確認ステータスファイル内容(status\_send\_last.txt)

02  
送信処理中です。

##### 【受信処理時】

###### ◆「メッセージ」



###### ◆結果確認ステータスファイル内容(status\_receive\_last.txt)

03  
受信処理中です。

※お取引先様がアプリケーション等にて、結果確認ステータスファイル内容を参照されている場合も、同様の対応が必要となります。

## タイトル 6. フォルダ構成

作成日

2007年6月25日

更新日

2008年5月29日

●一括モジュールのフォルダ構成は以下の通りとなります。 ※フォルダ構成は変更不可です。

